

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	33	施策名	文化の振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課		
関係課名	図書館、埋没林博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な芸術文化にふれる機会が多く、市民が活気と潤いに満ちています。 ・伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統や文化に愛着と誇りを持っています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に芸術文化活動に参加します。 ・市の歴史や伝統文化、文化財に関心を持ち将来に伝えていきます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化振興のため、発表会や優れた芸術活動の奨励に取り組みます。 ・伝統文化、文化財の保護・継承に努めます。
	その他(地域)	

区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	13 (13)	13 (13)			
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	4 (4)	4 (4)			
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (9)	9 (9)			
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	124,108	101,207			
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	96,204	89,157			
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	27,904	12,050			
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	31	32			
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	6,070	5,600			
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	26,702	23,486			
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	150,810	124,693			
G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	2,801	2,298			
同上	円	—	603	533			
H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	3,403	2,832			
同上	円	—	3,403	2,832			
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	3,403	2,832			

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194		
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036		

基本事業概要シート①

施策No.	33	施策名	文化の振興
基本事業名①		芸術文化活動の推進	
基本事業①の目的(意図)		芸術文化活動に数多く触れ、市民の誰もが心の潤いと心の豊かさを実感できます。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【音楽のまちづくり推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設での出前コンサートや小中学校での音楽指導を行いました。 【新川文化ホール管理事業、新川文化ホール鑑賞事業】 ・県文化振興財団を指定管理者として、ホール事業、展示事業を実施し、鑑賞の機会を提供しました。 【芸術文化振興事業】 ・芸術文化団体などに補助金を交付し活動を支援するとともに、寄贈作品による「諏訪部陽甫展」を開催しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
芸術文化活動に触れる機会が多くあると思う市民の割合	%	24.2	22.0 22.6	23.0 35.4	24.0 35.0	25.0 29.8	26.0	27.0	32.0
新川文化ホールや新川学びの森天山交流館の自主企画事業の参加者数	人	58,532	58,000 57,441	59,000 47,761	60,000 57,845	61,000 55,259	62,000	63,000	68,000

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	音楽のまちづくり推進事業	2,837,000	2,730,000	107,000	B	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	新川文化ホール管理事業	84,213,000	84,212,200	800	B	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	新川文化ホール鑑賞事業	1,027,000	1,020,700	6,300	B	生涯学習・スポーツ課
4	一般会計	芸術文化振興事業	1,484,000	1,194,134	289,866	A	生涯学習・スポーツ課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			89,561,000	89,157,034	403,966		

基本事業概要シート②

施策No.	33	施策名	文化の振興
基本事業名②		地域の歴史や文化の保存・継承	
基本事業②の目的(意図)		郷土の文化財・伝統文化の保存活用に努めるとともに、市民の郷土を愛する意識を高めます。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		【洞杉指定文化財推進事業】 ・洞杉及び岩上植物群落を市の文化財(天然記念物)に指定し、解説案内板を設置しました。 【文化財保存事業】 ・大沢地鎮杉の保存修理やたてもん橋の修理事業を実施しました。 【遺跡試掘調査事業】 ・松倉城郭群の調査及び市内遺跡の分布調査を実施しました。 【国道8号バイパス遺跡調査事業】 ・国道8号バイパスの建設にともなう発掘調査の調査報告書を刊行しました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に育まれた文化が豊かであると感じている市民の割合	%	39.0	40.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	48.0
			37.8	50.9	54.8	52.9			
たてもんボランティアの参加人数	人	153	300	310	320	330	340	350	400
			200	118	245	281			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	洞杉指定文化財推進事業	347,900	298,830	49,070	B	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	文化財保存事業	2,444,100	2,337,460	106,640	B	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	文化財管理事業	874,000	429,652	444,348	B	生涯学習・スポーツ課
4	一般会計	文化財保護団体育成事業	291,000	290,200	800	B	生涯学習・スポーツ課
5	一般会計	埋蔵文化財調査室管理事業	1,077,000	804,217	272,783	B	生涯学習・スポーツ課
6	一般会計	遺跡試掘調査事業	2,061,000	2,007,503	53,497	A	生涯学習・スポーツ課
7	一般会計	国道8号バイパス遺跡調査事業	6,528,000	5,540,659	987,341	B	生涯学習・スポーツ課
8	一般会計	市史編纂植物・地質調査事業	280,000	229,153	50,847	A	埋没林博物館
9	水族館事業特別会計	市史編纂動物調査事業	150,000	112,382	37,618	A	水族博物館
10	一般会計	歴史民俗博物館管理事業(施策31-③再掲)	(10,789,000)	(10,372,909)	(416,091)	B	生涯学習・スポーツ課
11	一般会計	歴史民俗博物館企画展事業(施策31-③再掲)	(906,000)	(382,960)	(523,040)	A	生涯学習・スポーツ課
12	一般会計	埋没林埋蔵分布調査事業(施策31-③再掲)	(952,000)	(896,720)	(55,280)	A	埋没林博物館
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			14,053,000	12,050,056	2,002,944		

施策No.	33	施策名	文化の振興
-------	----	-----	-------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【芸術文化活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆芸術文化活動に触れる機会が多くあると感じる市民の割合は、前年度に比べて0.5ポイント低下し、29.8%になりました。 ◆新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は、「トリックアート展」の入場者が多かったものの、市民参加型のイベントの開催が少なかったことなどから、約55,000人と前年度に比べて減少しました。 ◆本市には、新川文化ホールと天神山交流館の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市と比較しても充実しています。 <p>【地域の歴史や文化の保存・継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合は、前年度に比べ1.9ポイント低下しましたが、目標値を上回っています。 ◆たてもんボランティア参加者数は、281人と前年度を大きく上回りました。
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)

【芸術文化活動の推進】

<新川文化ホール鑑賞事業>

- ◆小中学生に舞台芸術や美術を直接鑑賞する機会を提供することにより、豊かな感性を育むことにつながりました。

<芸術文化振興事業>

- ◆文化芸術団体の活動を助成するとともに、新川文化ホールの展示ホールやミラージュギャラリーで市美協会員展を開催することにより、制作や発表活動の充実につながりました。

【地域の歴史や文化の保存・継承】

<歴史民俗博物館管理事業、歴史民俗博物館企画展事業>

- ◆歴史民俗博物館での展示鑑賞・解説事業や歴史副読本④「くらしのうつりかわり」の刊行などにより、多くのこどもたちが市の歴史についての理解を深めました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
(前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)

【芸術文化活動の推進】

- ◆新川文化ホールや学びの森交流館で開催するコンサートや企画展については、幅広い市民の要望を取り入れた内容となるよう、また、少ない事業費で開催することができるよう指定管理者と協議する必要があります。

【地域の歴史や文化の保存・継承】

- ◆松倉城郭群の実態を総合的に把握し、学術的な価値を明らかにすることを通じて、山城の保存・活用と地域の活性化につなげる必要があります。
- ◆埋没林の分布状況を把握し、保存活用のための基礎データを得るため、引き続き、埋没林埋蔵分布調査事業を実施します。
- ◆「タテモン行事」のユネスコ無形文化遺産への提案を契機に、地域の民俗文化財の保存・継承や魅力アップに取り組む必要があります。

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館で実施している小中学生や一般を対象とした芸術文化鑑賞事業や、各種団体で行われている芸術文化活動は、近隣と比較して高い水準にあると考えられることから、今後も水準の維持に努めること。 ◆文化財の保存・継承については、文化財保護団体の実施する活動を引き続き支援していくとともに、文化財の保護顕彰に努め、文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう取り組むこと。 ◆平成30年に米騒動発祥100周年を迎えることから、米倉の利活用について、所有者との協議の進捗状況も踏まえながら市の基本構想の策定に向けた準備を進めること。 	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう、文化財の保存・継承や文化財保護団体の活動の支援に努めます。 	